

試験報告書

第 507080076-001 号 page1/3

2007 年(平成 19 年)08 月 21 日

依頼者 コデラカプロン(株)

検体 銅繊維編込み 5 本指靴下 超快足キュピエ

表題 脱臭効果試験 (銅 Web 編込み靴下)

2007 年(平成 19 年)08 月 02 日当センターに提出された
上記検体について試験した結果は次の通りです。

財団法人 日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 52 番 1 号

脱臭効果試験

1. 依頼者 コデラカプロン(株)

2. 検体

銅繊維編込み 5 本指靴下 超快足キュピエ

なお、依頼者から対象品として「普通の 5 本指靴下 サンプル A」の提供を受けた。

3. 試験概要

検体及び対照品についてアンモニア及びイソ吉草酸の脱臭効果をガス検知管により試験した。

4. 試験結果

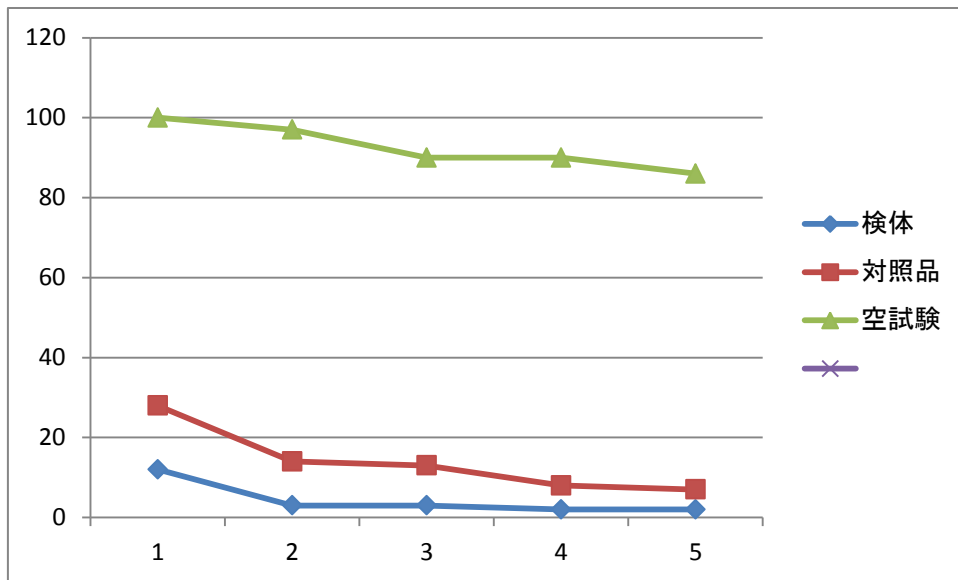
試験結果を表—1 及び 2 並びに図—1 及び 2 に示した。

表一1 アンモニアの試験結果

(単位 : ppm)

試料区分	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	12	3	3	2	2
対照品	28	14	13	8	7
空試験	100	97	90	90	86

初期ガス濃度 : 約 100 ppm



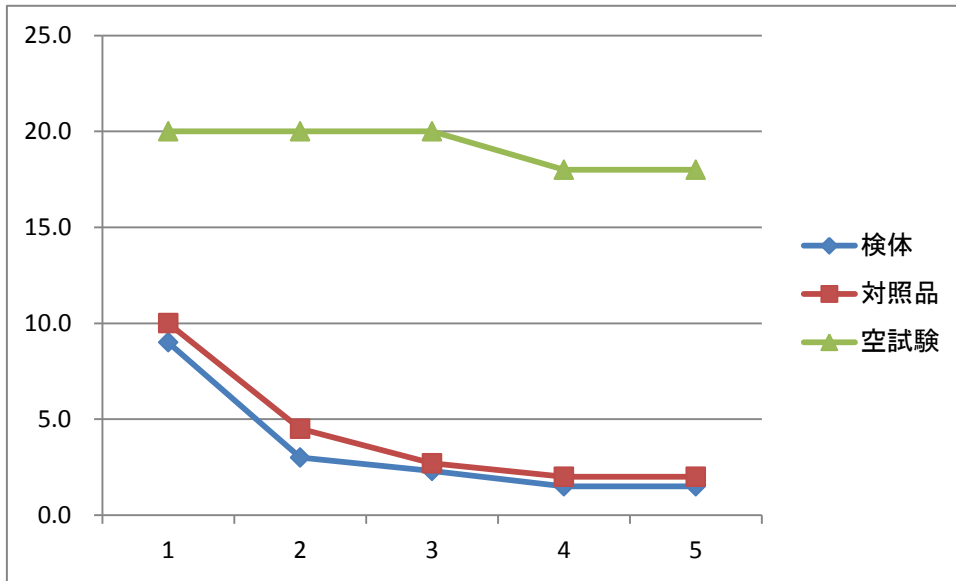
図一1 アンモニアの試験結果

表一2 イソ吉草酸の試験結果

(単位 : ppm)

試料区分	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	9.0	3.0	2.3	1.5	1.5
対照品	10	4.5	2.7	2.0	2.0
空試験	20	20	20	18	18

初期ガス濃度 : 約 20 ppm



図一2 イソ吉草酸の試験結果

5 試験方法

1) 試薬及び器具

におい袋 (25 c m x 40 c m) [有限会社ミヤコビニル加工所]
 アンモニア水 (28%、特級) [小宗化学薬品株式会社]
 イソ吉草酸 (特級) [東京化成工業株式会社]
 ガス検知管 [株式会社ガステック]

2) 操作

検体及び対照品をそれぞれにおい袋に入れ、ヒートシールを施した後、空気 3 L を封入し、設定したガス濃度となるように試験対象ガスを添加した。これを静置し、経過時間ごとに袋内のガス濃度ヲガス検知管を用いて測定した。また、検体及び対照品を入れずに同様な操作をしたものを空試験とした。

試験条件を表一3 に示した。

表一3 試験条件

検体使用量	検体 : 10 c m x 10 c m 1 枚 対照品 : 10 c m x 10 c m 1 枚 底部から切り取り、試験に用いた。
試験対象ガス (初期ガス濃度)	アンモニア (約 100 ppm) イソ吉草酸 (約 20 ppm)
温度条件	室温
測定時間	10、30、60、120 及び 180 分

以上